



三友社屋外観

株式会社三友の前身は、旧三井物産株式会社防府事務所。1947年(昭和22年)に株式会社三友商社を設立、その後1977年(昭和52年)に社名を現在の株式会社三友とし現在に至る。

「地域のより幸せな生活と環境をつくるシステムベンダー」 — そのためのフルライン・フルファンクション — を経営理念とし、より幸せで健康な未来のため時代をサポートしている。

顧客サービス拡充とより迅速な緊急対応に向けて

「検針業務にかかる負荷を軽減することが課題でした。その負荷を減らすことで顧客サービスの拡充を図るのはもちろん、より高度な緊急対応をお客さまに届けたいと考えました」と話すのは柏木 俊行氏(物資事業部 営業2課 副課長)。県央部を販売エリアとする同社では、更なる迅速な緊急対応の実現と検針業務にかかる社員の負荷軽減を目的にLPWA設置を決めた。集中監視システムセンターを利用しているメーカーの機器を選定したことで、システム連携もスムーズだったという。



笑顔で取材に対応してくださった柏木氏

LPWA通信システムの実態調査票（事前調査）

フリガナ	カブシキガイシャ サンユウ		会社所在地	山口県防府市駅南町9番43号	
会社名	株式会社 三友		事業責任者名	藤元正邦	役職名 代表取締役
連絡先	部署名	物資事業部 営業2課	電話番号	0835 - 23 - 6331	従業員数 289 名
	担当者名	柏木俊行	ホームページ	https://www.san-yu.co.jp/profile/outline.html	
会社設立	西暦	1947 年 12 月 日	顧客件数	件 内家庭用	件 業務用 件
事業内容	1. LPガス及び関連機器卸小売、リフォーム、給排水工事、太陽光発電システム販売				
	2. 道路建設関連工事、土木建設資材の販売及び工事				
	3. 建物の外装材、内装材等の販売及び施工				
	4. コンピュータ周辺機器及びシステム販売、ドコモ携帯電話、通信、ソリューション販売				
会社の強み	1. 地域社会に貢献できる体制を整え、全社員が協力し合える職場環境				
	2. 若手社員が進んで、取り組める職場				
	3.				
	4.				

LPWA通信システムの活用方法	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input checked="" type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 (該当項目☑をクリック)				
	<具体的活用方法> 検針宅の自動検針化、WEB明細の導入等のDX化を図る。また、緊急時対応等の保安の高度化を目指す。				
LPWA通信システムの導入目的	<申請前における業務上の問題点> 検針宅及び検針宅の従業員業務負担を低減し、迅速な緊急時対応を図る。				
	<導入によって期待する効果> 検針にかかる労力を営業活動に活かし、顧客へのサービスを充実させる。				
設置状況	今回設置件数	800 件	累計設置件数	件	全顧客に占める設置率 66.0 %
導入費用	総金額	円	内補助金対象金額	円	補助金額 円
導入期間 (今回分)	補助金申請日	西暦	2024 年 6 月 25 日	所要期間	8 ヶ月
	機器設置完了日	西暦	2025 年 2 月 14 日	実行体制 合計 6 名 内社内 1 名 内社外 5 名	

LPWA通信システム導入までのスケジュール

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
導入までのスケジュール	●仕様検討													
	●機器メーカー選定													
	●設置先の選定													
	●補助金申請書作成													
	●事前調査													
	●事前周知													
	●設置工事													
	●試験運用													
	●本格運用													
	●メーカー講習会													
●その他 ()														

通信機器メーカー選定理由	LPWAの導入に関してのノウハウや、システム連携時の業務の負担が少ない為、選定した。
導入・設置を進める中で生じた問題点とその改善策	<発生した問題点> 取付場所によっては通信電波の入りにくい場所があった。
	<上記問題点を改善した方法> 取付場所を変更し、対応した。
導入によって得られた効果や想定外の効果・エピソード等	検針業務での移動時間が軽減でき、営業活動を強化できた。 また、アラート通知による迅速な対応が可能となり、蓄積したデータは予防保全にも繋がっている。
導入によって削減できた費用	検針に伴う労務時間、移動に使用する車両経費（約47万円/月）
反省点	新しい機器やシステムに対する操作説明や研修が不十分で、対応に時間を要した。 導入後の活用が限定的になり、効果が最大化されなかった。

他用途への拡充意向	<input checked="" type="checkbox"/> Web請求	<input type="checkbox"/> SNS運用	<input checked="" type="checkbox"/> 遠隔地開閉栓	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急時対応	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な料金提案（該当項目☑をクリック）
	<input type="checkbox"/> 機器拡販	<input type="checkbox"/> 省エネ提案	<input type="checkbox"/> 電気等セット販売	<input type="checkbox"/> イベントへの集客	<input type="checkbox"/> その他 ()

自己評価	作業項目	評価（数字を入力）		評価5または4の具体的な理由
		5	4	
5 大変だった	●申請作業	5	大変だった	必要書類の準備に時間を要した
4 やや大変だった	●仕様確定	3	普通	
3 普通	●メーカー選定	3	普通	
2 あまり大変ではなかった	●事前周知	3	普通	
1 大変ではなかった	●設置工事	4	やや大変だった	天候により工程変更があった
	●試運転	3	普通	
申請から導入後（現在）までにあった、反響・意見・要望等	社内から	業務負担の軽減により、ワークライフバランスが改善された		
	業界・取引先などの社外から	ガス切れ等の防止に役立っている		
	お客さまから	検針がなくなることで担当者に会える機会は減ったが、消し忘れ等の心配事がなくなり、安心して利用できる		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス（こうしておけば良かった、注意すべき点等）	導入後の活用方法や効果、運用体制についてもう一步細かく定めておけば良かった。 事前準備がスムーズな導入後の運用に繋がります。			